
空豆2300% 1

黒豆。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空豆2300% 1

【Nコード】

N4711BA

【作者名】

黒豆。

【あらすじ】

主人公 彰と彰の友達 秀の青春ラブ？コメディー？まあ適当ストーリーです（笑）

彰「ふー、暑いなー・・・」

秀「我慢しろよ もうすぐ屋上だぜ？」

俺、架白 彰は中2で 今喋ってる親友 仲片 秀は中3。

秀「それにしてもお前はサボりばっかだなー、少しでも授業受けてないと高校いけねーぞ」

彰「お前よりはなんでもできてるって 問題出してみ」

秀「そーだなあー・・・じゃ3×9＝？」

彰「秀お前そんなこともわかんねーのか？冗談だろ」

秀「冗談じゃねーぞ にじゅう・・・はち？」

彰「27！秀マジで大丈夫か？」

秀「そーなんだー・・・俺が年下に負けるとは・・・」

ホントは先輩だけど小学校から同じだからいつとも一緒に行動してて兄弟って言われてる

秀「俺はお前よりモテてるんだからいいんだよッ！」

彰「だな・・・それは否定しようとしても本当のことだからなあー。」

「

秀「俺今度家来ないかって保健の安住にも誘われてんだぜ。あとはDの河井とか」

彰「はいはい、もう秀さんの自慢話には飽きましたってんだよ」

たしかに秀はモテる。顔立ちがすっきりしてて眼がパツチリ、さらさらした髪を綺麗にセットしている。秀の親が死んだときに残してた指輪をネックレスにしてどこにでもつけて出てる。その指輪がオシャレでセンスもいいという噂もたってる。けど

アイツの服はほとんど俺のおさがりだ サイズちっちゃえからな

秀「なに？ジロジロ見て。襲って欲しいの？」

彰「なっ なに言ってたんだ？！馬鹿秀！」

秀「嘘ですー、お前なんか襲ってもなんの得も無いしな。」（笑）

ふー・・・アイツにBLの本能があつたらビックリする・・・ぜ。
・・・（汗）

秀「なあなあ 俺に手紙きてなーい？」

彰「あ そういやきてたな はいよ」

秀「毎回ごめんな よいしょつと。」

ガサガサ びりっ

彰「いいなあ　お前はいつも告白手紙が一日にたくさんきてて。」

秀「あはは　お前にはある意味負けてるけどな」

彰「ん？なんでだ？」

秀「だって杏奈ちゃんお前にゾッコンじゃん　杏奈ちゃんっていえばこの学校で一番の美女だぜ」

彰「でも俺には・・・」

秀「初恋の人を待ってるってか」

彰「よく分かったな」

秀「あんまり昔のこと引きずってねーで新しい恋するんだぞ？」

彰「でも俺はアイツを迎えに行くんだよ　大人になってからな。」

秀「ヒューヒューかけーなー、でも夢みすぎだぜ」

彰「ん？風で聞こえなかった　もいつかい！」

秀「いや・・・いいよ」

彰「？」

そのときは誰も大変なことがおきるって知らなかったんだ。

そう　誰も

(後書き)

特になし。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4711ba/>

空豆2300% 1

2012年1月12日21時48分発行